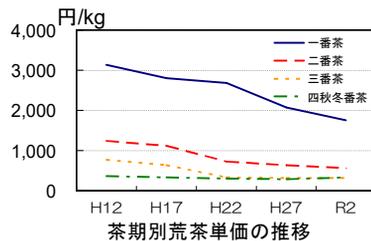


○ 取組の背景

- リーフ向け荒茶の需要減少により、一・二番茶価格が低下。
- 農家の高齢化や茶の収益低下により、共同茶工場の存続が難しくなっている。
- 中小規模農家の規模縮小や離農により、管理ができなくなる茶園が増えている。



○ 課題・目標

- 共同茶工場の組織再編、事業の継承や担い手への農地集積により、産地を支える継続性の高い茶業経営体の育成

普及指導員の活動

○ 推進方向1 「茶業経営体の体質強化と効率的茶園管理の推進」

■ 経営体の体質強化、生産構造改革の推進

- ・ セミナー開催(12/17)「茶のスマート農業技術の現状」 18人参加
- ・ 需要に応じた生産構造への転換支援(ChaOIプロジェクト推進事業) 6経営体の生産・収支等の計画策定支援(3~7月) 採択された4経営体の機械等整備事業推進(8月~)



セミナーの様子

■ 共同管理作業の取組支援

- ・ 富士東製茶農協組合員有志による共同摘採組織運営への助言
R2: 共同管理の仕組み構築支援
R3: 法人化の基本事項説明、専門家派遣による指導



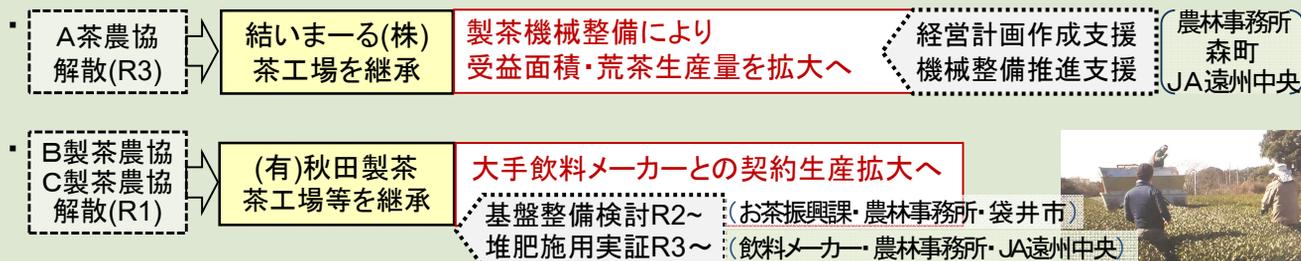
専門家による指導

■ 茶園の面的集積

- ・ 6市町、3JA、中間管理機構との集積推進打合せ(5~6月、2月)
- ・ 農地集積、基盤整備を検討している地区での説明、話し合い(7月~)

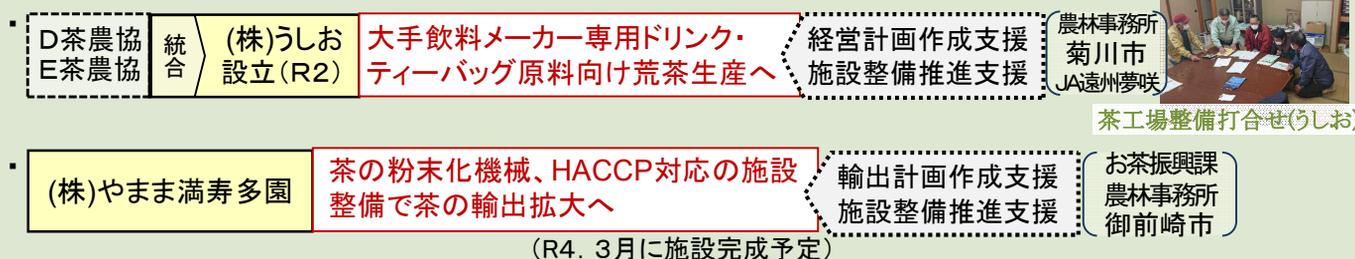
○ 推進方向2 「共同茶工場の再編と特色ある茶生産の取組支援」

■ 新たな茶工場経営体への再編(再編後のフォローアップ)



土づくり実証(秋田製茶)

■ 特色ある茶生産への支援



茶工場整備打合せ(うしお)

具体的な成果

○「茶業経営体の体質強化と効率的茶園管理の推進」

■経営体の体質強化、生産構造改革の推進

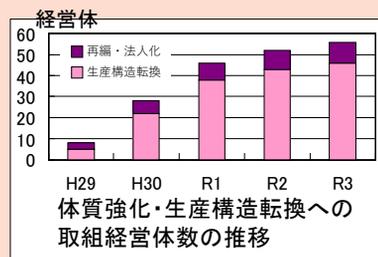
☆ 新たに体質強化に1経営体、生産構造転換に4経営体が取り組んだ。

- * 体質強化・・・任意組織が法人化に取組中（富士東製茶農協有志グループ）
- * 需要に応じた生産構造への転換・・・

取引先との契約販売の実施

ドリンク原料茶向け等荒茶製造機械整備

（堀内製茶、(有)ヤマダイ、(株)おがさ、金井製茶）



■共同管理作業の取組支援

☆ 茶園共同管理作業グループが法人化を準備中。（富士東製茶農協有志グループ：再掲）

専門家の助言により、収益分配や経費拠出等の経理、資産管理等の疑問や不安が解消。

ひとつの経営体としての労務管理や財務管理体制づくり

	R2	R3	
* 仲間(構成員)が増加!	3	4	人
* 共同管理の面積が増加!	9.3	12.7	ha
* 菌床しいたけも規模拡大!	1人・7,000	4人・12,000	菌床
* 共同化の効果	・茶園管理作業の効率UP!		
	・茶工場への安定的な労務提供で荒茶品質が安定!		

将来は
富士東製茶農協の
中心的な担い手へ



■茶園の面的集積

☆ 農地バンク事業等を活用した担い手への集積茶園面積が増加

(R2) 153.7 → (R3) 170 ha

○「共同茶工場の再編と特色ある茶生産の取組支援」

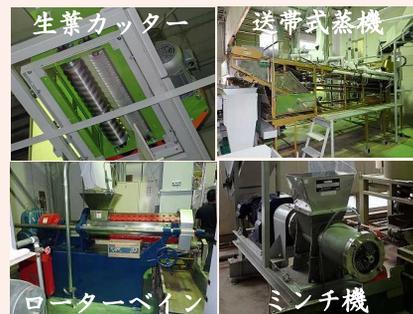
■新たな茶工場経営体への再編（再編後のフォローアップ）

☆ 結いまる(株)の茶工場の新たな製茶機械が整備され、生産力が高まった。

- * 製茶能力が向上し、荒茶生産量の2倍以上増加を計画!
- * 茶商の要望に添う荒茶製造の実現!
(上級～一般リーフ向け、粉茶等の原料向けなど)

	整備前R2	整備後R4目標	
構成員(役員)数	3	5	人
受益茶園面積	19	28	ha
生葉処理能力	5,000	10,000	kg/日
荒茶生産	1,2番茶	1,2,秋冬番茶	

(R3整備後に、これまで製茶しなかった秋冬番茶を製造)



☆ (有)秋田製茶の飲料会社とのドリンク向け茶生産の契約茶園面積が拡大した。

- * 契約茶園面積 R3：2.7倍 (R1比)

■特色ある茶生産への支援

☆ (株)うしおのドリンク・ティーバッグ向け茶専用の製茶工場が操業開始した。

- * 年間販売額の増加に向けて取組む! R3：44%増 (R1比)

☆ (株)やまも満寿多園の輸出向け粉末茶製造施設を整備中。

- * 輸出向け対応可能なHACCP対応衛生管理の茶粉末加工施設が整備された!
- * 粉末茶の新たな販路(輸出先)を開拓中

